

第219回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1【予想配点：丸数字は点数を示す、合計64点】

問1

実際消費賃率

鍛造部門〔 ③ 2,860 〕円／時間 加工部門〔 ③ 2,680 〕円／時間

問2

予定配賦率

鍛造部門〔 ③ 3,800 〕円／時間 加工部門〔 ③ 2,800 〕円／時間

問3【 1 か所につき③点、合計30点】

原価計算表

(単位：円)

	No. 1	No. 2	No. 2-2	No. 3	No. 3-2	No. 4
前月繰越	2,985,200	—	—	—	—	—
直接材料費	—	1,468,800	1,836,000	1,792,800	129,600	1,425,600
直接労務費						
鍛造部門	—	400,400	543,400	514,800	42,900	371,800
加工部門	428,800	281,400	442,200	388,600	26,800	—
製造間接費						
鍛造部門	—	532,000	722,000	684,000	57,000	494,000
加工部門	448,000	294,000	462,000	406,000	28,000	—
小計	3,862,000	2,976,600	4,005,600	3,786,200	284,300	2,291,400
仕損品	—	△668,000	—	—	—	—
正常仕損費	—	△1,154,300	1,154,300	284,300	△284,300	—
異常仕損費	—	△1,154,300	—	—	—	—
合計	3,862,000	0	5,159,900	4,070,500	0	2,291,400

マイナスの場合は数字の前に△を付すこと。

完成品原価〔 ② 13,092,400 〕円 月末仕掛品原価〔 ② 2,291,400 〕円

問4

(部門個別費) ② (部門共通費) ②

問 5

補助部門費配賦後の金額

鍛造部門〔 ③ 2,509,900 〕円 加工部門〔 ③ 1,734,400 〕円

問 6

鍛造部門

予算差異〔 ② 74,100 〕円 操業度差異〔 ② △95,000 〕円

加工部門

予算差異〔 ② △54,400 〕円 操業度差異〔 ② △42,000 〕円

問題2〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計24点〕

問 1

購入原価・材料A〔 ④ 1,240,300 〕円 購入原価・材料B〔 ④ 834,400 〕円

材料副費配賦差異〔 ③ 10,800 〕円

問 2

購入原価・材料A〔 ④ 1,173,940 〕円 購入原価・材料B〔 ④ 787,360 〕円

問 3

購入原価に算入しない材料副費は、間接経費に属する項目として処理するか、材料費に配賦する。	⑤
--	---

問題3〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計12点〕

意味

操業度とは、生産設備等を一定とした場合におけるその利用度をいう。	④
----------------------------------	---

種類

理	論	的	生	産	能	力	②
---	---	---	---	---	---	---	---

実	際	的	生	産	能	力	②
---	---	---	---	---	---	---	---

平	均	操	業	度	②
---	---	---	---	---	---

期	待	実	際	操	業	度	②
---	---	---	---	---	---	---	---